

小学校関係のアンケートの主な自由意見について

カテゴリー記号	A1 小学校1年 保護者	B 未就学児 保護者	F1 小学校 学級担任	G1 小学校 PTA	G3 幼稚園 PTA	H1 小学校 スクールコーディネーター	I 幼、保、子、各園長
1 選択制度は維持	「学校選択制度」により、選ぶ自由度・学校の特色づくりなど、とても子供、保護者にとって、良い環境にあると思います。ただ、それにより、格差などが出来ていることに、新宿区の認識が保護者との認識に差があると思う。	ぜひ「学校選択制度」を利用したいと考えています。「選択できない学校」については、クラス数を増やしてできる限り希望が通るように努力をして頂きたいと思っています。	特になし。	理由を問わず選択できるのは自由が確保されて良いと思います。児童数の増減で単一学級になった場合トラブルをかかえた子供を思うと「指定校変更」も速やかに対応頂きたいです。	自分が住んでいる場所や、その年によって、状況は変わってくると思うので、子供が増えてきているから、だけの理由で選択制度をなくすのは疑問が残ります。		
	「学校選択制度」は良い制度だと思えますが、児童の通学の安全性や学校の規模の問題もやはり出る要因と思われるので、多少の制限は必要なのかと思えます。	近年の子供の増加や、広い地域からの登校等、問題点もあり、「学校選択制度」は無くしても良いと思うが、いざ、自分の子供が該当となるとあえてこの年にその制度を無くす事はして欲しくないと感じる。		基本的には、賛成であるが地域・町会のことを考えると、地元住人の子どもが別の地域の学校へ行くことで地元離れが心配である。	学校を選ぶ自由は、あって然るべきだと思います。ただ、やはり公立に関してはあまり学校による格差があるのはよくないと思うので、ある程度の基準は必要だと思います。		
2 選択制度と指定校変更の一本化	様々な理由で学校を選択していると思うので、自由に選べるようにしてほしい。	通学区域外の学校を選択しようかとも思いますが、自宅から遠くなる分、通学時が心配です。	地域の口コミのようなものがSNS等の広がりによって広がりやすくなっている。そうした不確定な情報で、学校の児童数が大きく偏るような状況は避けられるようにしたいと思う。	「学校選択制度」を希望しましたが、補欠となり、最終的に1月末頃に繰り上がりなく、現在は、自宅近隣の小学校に通学しています。補欠となってからの最終決定までの期間が長すぎると感じました。	家の近くに学校があるのですが、区域外であり。更に「選択できない学校」に指定されているため、通うことができません。通学の安全を考えると、近い場所の方が、安心ですし、学校行事・PTA活動もやり易くなります。	「学校選択制度」により、子どもの個性にあった学校で学ぶことができるので良いと思う反面、通学時の安全確保に不安がある。	「学校選択制度」を導入することで、各学校が教育レベルを上げたり、雰囲気や良くなる努力がされるなら大変好ましいと思います。
	学校を決める自由度が高まる利点と学校によって各クラスの人数によりますます差が出ることは、問題があると思うので、難しい問題だと思います。	「学校選択制度」は、確かに学校を選べる自由度が高まる利点はあるが、その反面、人気校への偏り、校風への影響などがあると感じます。	学校を選択できる制度は、子どもの可能性が広がりとても良い制度だと思える。しかし、学校としては選択できる(される)特色を出していかななくてはならないので、難しさもあると思う。	公立の小学校に対して過度に期待している家庭があると思う。そのような家庭のために現行の「学校選択制度」を残し、自分でできる範囲での選択したという満足感があると良いと思う。	その年によって入れたり入れなかったりすると兄弟(姉妹)で違う学校に行かなければいけないかもしれないので、いっそのこと選択出来なくてもいいんじゃないかと思う。	「選択出来ない学校」が増加しては、「学校選択制度」の意味がなくなってしまう。反対にちょっとした情報や噂に流され、指定校に行かない傾向もあるように思います。学校間の格差が広がる要因になります。	現在の「指定校変更制度」では3月末でも変更が可能となる。人数の把握、入学者や進学先の把握等が難しいため、×切を早くする必要があるのではないか。
3 指定校変更の周知徹底	「学校選択制度」はあってもよいとは思いますが、特別な事情があって「指定校変更制度」を利用する方を優先するなどの配慮は必要だと思います。	そもそも、公立の小学校で、高い教育方針を掲げて、児童を奪い合う必要があるのか。それは私立小学校の範疇では。公立というのは、全ての小学校において、充実した教育を平等に受けることができることが理想		祖父・父の出身校に通わせたく、「学校選択制度」の申請をしましたが叶わず、学区の小学校に通うことになりました。結果、とても良い環境で学ばせていただき、むしろ申請が通らなくて良かったと思っています。	今の時代、どのようなことが起こるかかわからないので、選択出来るという選択肢があるということで安心しました。	地域性を重要視するのであれば、特別必要と思われる児童のみの変更がいいのではと思う。通学時間は子供にとって、とても大変な気がします。	一長一短があり、これをしばらく続けて様子を見るべき。長所が短所に勝れば、続けるべき。
	小学校には選択は必要ないと思う。「指定校変更制度」は維持してほしい。中学は私立との競争になるように思う。	通学区域の学校の児童数が少ないため、以前は「学校指定制度」を利用したいと考えていました。子供自身も幼稚園の友達と同じ学校に入学を希望しています。(隣接する学校)		「特別な事情」による指定校の変更が出来るようにすることは必要だと思いますが、それ以外の理由で学校選択をするほど、学校別に教育内容(教育の質)に差があるようでは困ります。	学校を選択する基準として、親としては規模や校風が子供に一番合っている学校というのが1番だと思いが、子供はおそらく、仲の良いお友達が通っている学校が一番ということになるのではないかと思います。	豊かな教育活動は、「学校選択制度」がなくても、学校は、努力していると思う。コーディネーターが配置されている時点で、教育現場に教員以外の講師が登場し、マンネリ化を打破していると考えます。	早稲田小学校、鶴巻小学校が近隣にある。姉が鶴巻小学校だが6年間クラス替えがなかった。メリットもあるが、デメリットもある。友だち関係は難しいという話をされた、保護者がいました。弟は早稲田小に入りました。
4 選択制度は必要なし	「学校選択制度」はあまり必要を感じません。昔の様に学区の学校に通学する事が近所の知り合い友達も増え、地域との交流も増えて良いと思うからです。	選択制度があっても、学校側にスペースの問題で受け入れ体制が整っていないと難しいように感じました。しかし、いじめや不登校の時に転校も選択肢の一つとして考えられることは心強く感じます。	以前、他区の小学校で、新しい設備の学校に集中し、古い学校の前を多くの児童が通り通学する様子があり、条件で既に厳しい状況があるとありました。通学時の安全性の確保も難しいと思いました。	「学校選択制度」の見直しの前に、学区を昔のままにしているのが、現在に合わせた学区の見直しをまずはしてほしい。そうする事によって、人数を多少なりとも調節出来たりするのではないかと。	「選択制度」はQ7のメリットもあるが、Q4の課題面(デメリット)が大きすぎるため、「選択制度」はやめるべきだと考える。	「学校選択制度」は地域との連携を考えると最悪である。子供は小学校に上がると親の目が行き届かなくなります。そのとき、見守ってくれるのは「地域」です。地域との深い関係なく児童の安全は実現できません。	「学校選択制度」は、義務教育の間は個人的な意見ですが必要ないと思います。地域の見守りがあり学校へ登下校する方がとても自然な形だと思います。
	学区内の学校へ行けばいいと思います。選択希望で、希望が叶う人、そうでない人という不平等な感じを受けます。	義務教育の公立学校に選択制度は必要ないと考えます。住居のある学区の学校に通うのがあるべき姿だと思います。(義務教育においては)国民に平等に行政サービスを提供すべき	区域が広がり、安全面の不安が増え、家庭訪問等が増える等、学校側からはメリットを感じない。保護者も風評に振り回されている様子を感じる。	入学前に選択権を持つことで、親はとても悩みます。幼稚園の友達が学区外を希望するからうちも…というようになります。また、一部の学校に集中して、学区内の学校の児童が極端に少なくなったりもします。	たとえ選択制度があつたとしても、通学の安全面等を考慮すると遠くの学校に通学させるという事は非現実的。であれば、地域格差が生じるのみで、選択制度は名ばかりのもののような印象。	学校の校風・伝統や教育目標・方針など、どれを取っても遜色があるわけではないのに、「学校選択制度」が導入されて以来、児童数の減少が目立つ。この事を一番心配しているのは、保護者以上に、地域の町会の人達です。	地域の中で子どもが育つという環境は、とても大切に意義があると思う。区域外から来る子どもは、親も含めて地域との関わりがたいへん薄いことが多い。

中学校関係のアンケートの主な自由意見について

資料9

カテゴリー記号	A2 中学校1年 保護者	C 小学校6年 保護者	D1 中学校3年 生徒	D2 中学校3年 保護者	F2 中学校 学級担任	G2 中学校 PTA	H2 中学校 スクールコーディネーター
1 選択制度は維持	部活動等が通学区域の中学校になかった場合、区内の他中学校にあるようなら、「学校選択制度」は有効だと思います。また、選択が出来る事により、各学校がより良い学校を作る競争につながるの Good と思います。	最寄りの中学校が望ましいとは思いますが、親として学校の雰囲気や校風、教育方針には共感出来る部分が必要と考えます。仮に、少々距離があったとしても、そのような印象を与えてもらえる学校に合わせたいと思います。	人それぞれ様々な立場があり、それに応じ入学志望校も異なります。全ての子どもは、自分で学びたい、通いたい学校を自分で選択することの出来る権利があると思います。したがって、「学校選択制度」は必要不可欠な制度。	「学校選択制度」がある方が、中学を通わせる親としては安心して Good います。兄弟でもタイプは違うし、その年代の子供達のカラーも違 Good います。	「学校選択制度」で構わないが、格差は生まれると思う。その課題 Good にどう対応していくか。良い学校は構わないが…。「指定校変更制度」は Good なくて良いのでは…。単に人気取り、保護者生徒の機嫌取りになっ Good てしまうのでは。	「学校選択制度」は新宿区の良さ Good の1つの象徴(=シンボル)であり Good ます。通学時の安全性の確保、学 Good 校・家庭間の連携など課題はあり Good ますが、他にはない特色ある取組 Good に課題はつきものであることもまた Good 世の常。	(2・3年で)転校してくる生徒(地方 Good から)は、学校の様子もわからず Good 学校を学区内の中学校に決められ Good てしまい、学校に入ってから校風 Good など合わずに困っている生徒もいる Good のではないでしょうか。
	人間関係が複雑になるので、学区内の中学にどうしても行かせたくないという家庭のために、「学校選択制度」は、継続していた方が Good 良いと思うが、小学校が選べなくなっ Good てきているなら今より緩和する必要 Good はないと思います。	選択枠は多ければ多い程良い。その方が競争力も上がり、先生や生徒も切磋琢磨するから。	家が遠い。5分でつく学校が区域内じゃない。	「指定校変更制度」を使っても「施設面で対応出来ない学校」には、変更出来ないのか?等、良く分からない点もあります。やりたい部活のあるなしで、学校を選びたいということもあると思う	特になし。	個別の問題(アレルギーなど)について、学校の対応によって選べるメリットがある。小学生と違って登下校の安全が確保されている前提で、子ども本人が自分で学校を選べることは学校に対する愛着や意欲につながる。	
2 選択制度と指定校変更の一体化	小学校である程度、友人・信頼関係を築いて来た場合、学区を越えての入学も必須かと(友人同士で協力し合える)逆に、学校で人間関係でトラブルが生じていた場合は新規一転で、環境を変えるのも重要であると考えられます	近隣関係上、同じ学校を選びたくないこともございます。また、小学校での友人トラブルの継続を回避するためにも自由な学校選択を希望します。	なし。	「学校選択制度」といいながら「選択出来ない学校」があるのはおかしな感じがする。親は子どもを少しでも環境の良い落ちついた学校で勉強させたいと思っている。	Q7について、都内すべての学校で少人数などを行っているので、「特色」にならないと思う。学校公開の内容も課題が山積のため、「開かれた学校作り」は実現しているとはいいいがたい。	「学校選択制度」があるから、PTA活動が低下したとかは無いと思います。逆に、選択して入って来ている人の方がPTA活動に積極的だったりもします。	
	子どもの自由意志を確認でき新しい出発には、とてもいい機会を与えていただいたと感謝しております。しかし、一方ある家庭では、親の意志を優先する家庭もあり…複雑な心情を味わうお子さまもいるのではと思わされます	部活動をさせるにあたり、各学校で同部活動があればいいが、現状のようであれば、選択した上で、入学させたい。	x	小学校と違い、中学での友人関係は、難しい部分があり、それを原因に登校出来なくなることが、多く耳に入ります。特に女子の悩みは深刻のようです。他の学校で、新たに生活を始められる選択肢として、必要。			
3 指定校変更の周知徹底	「指定校変更制度」があることで親子ともに気持ちの余裕が生まれます。「学校選択制度」がある事で、学校の格差が生まれる事は、事実です。基本、通学区域に通って方が一の変更制度があることが理想です。	小学校の人数の偏りが目立つので、小学校の「学校選択制度」はなくし、「指定校変更制度」のみ残すべきだと思います。	住んでいる通学地域の学校への入学を原則にし、引っ越した場合、方が一いじめにあってしまった場合のみにして、「指定校変更制度」の一つだけにしたい方がよいと思う。	特別な事情がない限り、選択制度は必要ないと考えています。年々、中学受験する児童が増え、結果発表まで、また選択制度による児童流入もあり、学校側は入学受け入れ準備の予測が立てにくいのでは?と見受けられます	地域協働学校といっているのに、地域外の生徒が多数いるのは矛盾していると思う。	昨今は選択制の影響が少なくなってきたと感じる。(利用人数が少ないため)そのため、あまり弊害を感じないが、数年前は強く弊害を感じた。	「地域協働学校」の定着を進めていく上でも、町会・自治会をはじめとして、本当の意味での「地域の学校」と捉える為に、選択制度は、もう少し縛りがある方がよいと思う。
	地域の子供は、その地域の学校に通学する事が、町の活性化、防犯につながり子供の安全を確保する事が出来ると思います。	公立である以上、学力での格差はなくなるように教師側の能力を向上、一定させて欲しい。ハード面で学校の良し悪しが決まってしまう傾向があるので総合的に公平に感じるような工夫があっても良いと思う。	特になし。	いじめなど特別な事情がなければ選択制度はなくてもよいと思います。		現在の本校における「学校選択制度」利用生徒がどの程度いるのか把握できていないので、「もし制度が緩くなったら」等の仮定の話がしにくい。	選択制度は一定の成果があったと思います。学校経営に格差が出るようなことがないよう配慮が必要だと思います。小中連携がスムーズに行くよう学区を小中で揃えることも必要だと思います。
4 選択制度は必要なし	子供の人数が、人気によって差が出てしまし、学校側も生徒の獲得のために風評を気にする様になってしまし。昔のように、「原則通学区域」で良いと思う。もっと地域に密着した方が良い。学校はもちろん、親も子も。	「学校選択制度」の事は理解しているつもりですが、この制度により各中学の差別化が起きるのではないのでしょうか。(学力差、等ですが)それより、教師の皆さんはこの制度をどの様に考えているのでしょうか、知りたいです。	「学校選択制度」は必要ない。WWWW	たぶんですが、この制度を利用して、少し遠いところから通学していると思われる子が、自転車で通学し、路駐しているところを何度か見かけました。そのような事がないように指導してほしいと思います。	積極的な理由ではなく、「通学域の学校には行きたくない」という消極的な理由で制度を利用しているケースが多いのではないかと思います。結果、指導に難がある生徒が集まることになるのではないかと Good 思います。	私は、「学校選択制度」に以前より何でこんな制度を作ったのだろうと疑問が有りました。小学校1年生で、自分の考えでこの学校の校風が良いとか、先生方も教育熱心だからと思える子供が居るのだろうか、極端な話ですが…	生徒の中には選択を希望する場合があります。学校も生徒が入学する為に色々工夫していると思います。親御さんも必要以上に魅力を求める事により、通学など心配な面が多く出て来るのではないかと Good 思います。
	地域で地域の子どもたちを育てるといい、昔ながらの良い点を見直した方がよいと思います。地域への感心も薄れてしまし、今後、このままで大丈夫なのか…と心配になります。	「指定校変更制度」があるだけで充分に思う。但し、その指定校変更の内容に、参加したい部活動が、通学地域の学校に無い場合も、含め、尚つ、入部希望の部活動に必ず入部する事を条件として許可するのが、良いと思う	選択じゃなくて、一番近い学校に行けるようにしてほしい。どこからどこまでが学区なのかははっきりしてほしい。	引越により当学校に入りました。校長先生を始め職員の方にとっても優しく、理解もして頂き満足しています。選択制度がより加速したとしても私は、今、小学二年生の娘を新宿中に入学させたいと思います。	勤務している中で、実際はないのに、「噂」で学校の批判があり、学区外の学校を選択する、というのは残念に思うことが多々あった。地域との協力、小学校との連携も考え学校選択はなくしてもいいと思います。	協働学校の運営をより良くしていくためにも学区制がある方が、地域の子どもとして見守る力が強えると思います。特別な事情以外は、学区を戻して欲しいです。また、統合により、学区も広すぎて登下校が大変。	